

平成27年12月18日(金) 第5校時(14:00~14:45)

1 主題設定の理由

<指導内容について>

○ 児童にとって、友達関係は最も重要な人間関係の一つである。友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。しかし、その関係は単に一緒にいて楽しいだけの関係であってはならない。いかなる状況にあっても互いに信じ合ったり、ときには相手に憧れを抱いて互いに尊敬し合ったりできるような友達をつくること、学校生活をより充実したものにしてくれる。そういった真の友情に気付かせることは、今後さらに人間関係を広げていく児童にとって大変重要であると考えます。

<児童について>

○ 本学級の児童は、友達に優しく接することができる児童が多く、男女間の仲もよい。程度の差こそあれ、誰もが友達のよさを実感しているだろう。しかし、「あなたにとって友達とはどういう存在ですか。」と問うと、「相談に乗ってくれる。」「一緒に遊んでくれる。」など、自分中心の視座からの回答が多く、友情が相互の信頼関係の下に成り立つものであり、互いに尊敬し合える存在であるべきという理解は浅い。そこで、友情について改めて深く考えさせ、真の友情の大切さについて自覚を深めてまいりたい。

主題名 信頼に支えられた友情<B- (10) 友情・信頼>

資料名「ヤクーバとライオンⅡ」

(絵本 ティエリー・デデュー作 柳田邦男訳 講談社)

<資料について>

○ 本資料はアフリカの奥地を舞台にした二部作の絵本である。昨年度、児童は一部を資料として、真の勇氣について学習した。今回取り上げる二部は、一部でのヤクーバとライオンのその後を描いている。大飢きんの中、一族のリーダーであるライオンは仲間のために餌を求め、ヤクーバが牛の世話をしている村へと向かう。仲間の手前、戦わざるを得ないライオンだったが両者の間にはこれまでに育まれた信頼と互いを尊敬する心があったために、見せかけの戦いをする。戦いを通して、両者は深い友情を確認し合うという物語である。真の友情とは相互の信頼の下に成り立ち、互いに尊敬し合えるものだという事に気付かせることに適した資料であると考えます。

<指導の工夫について>

- 児童の感性を揺さぶる絵本を資料として用い、大型テレビやBGM、語りによる資料提示により物語の世界に十分浸らせることで、考えてみたいという意欲をもたせる。
- 児童同士による問い返しや教師による切り返しの発問を通して、児童の多様な価値観を表出させる。
- 学習前と学習後の「友達」についての価値観を比べさせることで、児童自らが自分の価値観の広がりや深まりを実感させるとともに、自覚が深まるようにする。

本時の指導と他の教育活動との関連

運動会

騎馬戦や組体操で土台の友達を信頼し、自信をもって競技や演技に臨む行為。

各教科

Aさんは「Bさんのように上手に音読できるようになりたい。」と思い、Bさんは「Aさんのように文字がきれいに書けるようになりたい。」と互いに憧れ、切磋琢磨して努力する姿。

2 本時の指導

- (1) ねらい ヤクーバの言動の裏にある思いを考えるを通して、友達とは、何があっても互いに信じ合い、ときには互いを目標とするような関係であることに気付き、そのような友情を育んでいこうとする意欲と態度を育てる。
- (2) 準備物 場面絵、センテンスカード、大型テレビ、BGM、ワークシート（にこにこ日記）
- (3) 展開

主な学習活動	主な発問と予想される児童の反応	○指導上の留意点◇評価
1 自分たちの友達についてのイメージを確認する。	○ あなたにとって友達とはどういう存在ですか。 ・ 相談に乗ってくれる存在。 ・ 一緒に遊んでくれる存在。	○ ねらいとする道徳的価値について、授業前の児童のイメージを確認する。
友 達 に つ い て 考 え よ う		
2 資料「ヤクーバとライオンⅡ」を読んで考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">きらりタイム</div> <div style="text-align: center; margin: 10px auto;">                         小集団                          ↓                          全体                     </div>	○ ヤクーバは、どんなことを思いながら戦っていたのでしょうか。 ・ 本当は戦いたくない。 ・ 僕が助けたことをしっかり覚えてくれてるんだな。 ・ 君は僕が殺すつもりはないと信じている。僕も君を信じている。それでも力尽きるまで戦おう。  ◎ なぜヤクーバは、ライオンのことを「友だち」と言ったのでしょうか。 ・ 単純に村人をごまかすためにそう言ったんじゃないのかな。 ・ 決して自分を殺そうとしないライオンと友達になりたいと思ったから。 ・ お互いを助けたいと思って戦っている間に友情が芽生えた。 ・ ライオンのことを敵ではなく、むしろ尊敬するほどの存在とみなしたから。 ・ お互いに相手を尊敬し、信頼の心で結ばれていると感じたから。  ○ ヤクーバとライオンのような友達関係をどう思いますか。 ・ お互いを尊敬し合っていて、かっこいい。 ・ 決して裏切らない真の友情という感じがする。私もそういう友達をつかっていきたい。	○ 互いに守らなければならないものがあり、戦いは避けられないことを把握させる。 ○ 自分を信頼し、自分を殺そうとしないライオンに対し、深い信頼を寄せたヤクーバの気持ちに気付かせる。  ○ ライオンのことを「友だち」と語っている叙述に着目させ、その言葉の裏にある思いについて多様な考えを引き出す。 ○ 抽象的・表面的な表現については児童同士で問い返したり、教師が切り返しの発問をしたりしながら具体的な言葉に置き換え、価値観を引き出す。 ○ 児童同士の対話を意識し、主体的な話合いの中で価値観を深めたり広げたりできるようにする。 ○ 納得できる価値観を話し合わせることで、価値の自覚を図る。  ○ 経験の裏にある思いを尋ね、そこに見い出せる価値観をみんなで称揚する。  ◇ 真の友情には相互の信頼関係や尊敬の念が大切であることに気付き、そういった友情を育んでいくという視点から自分の経験やこれからを見つめ、思いや願いをもつことができたか。
3 自分の生活について振り返る。	○ 友達を信じ抜いたり、尊敬したりした経験はありますか。また、どのような思いでそうしましたか。	○ 経験の裏にある思いを尋ね、そこに見い出せる価値観をみんなで称揚する。
4 学習を振り返って、考えたことや思ったことをにこにこ日記に書く。	○ 友達について今日の学習で考えたことや思ったことを書きましょう。 ・ これまで、一緒に遊んだりするのが友達だと思っていたけど、それだけじゃないんだ。信じ合える、目標にできる友達をつくりたいな。 ・ わたしも、懂れている友達がいるよ。友達だけど、わたしを成長させてくれているよ。	◇ 真の友情には相互の信頼関係や尊敬の念が大切であることに気付き、そういった友情を育んでいくという視点から自分の経験やこれからを見つめ、思いや願いをもつことができたか。
5 教師の話聞く。		

(4) 協議の視点

- 友達についての児童の価値観を広げたり深めたりするための発問や教師のコーディネートになっていたか。